



～がんばった先の笑顔を目指して～

福翔

明治6年7月23日開校

二戸市立福岡小学校 学校だより
発行日 R6. 1. 16
第19号 (文責: 佐藤純子)
二戸市福岡字下川又15
電話0195-23-6155



150周年の年を締めくくる3学期がスタート!

児童会スローガン「前進～笑顔でつなぐ150周年にしよう～」を最後まで意識して生活しましょう!



ほとんどの子どもたちが元気に登校し、始業式に参加しました

今日から3学期が始まります。こうして、元気な皆さんと会えてとても嬉しいです。

1月1日、能登半島で大きな地震がありました。200人以上が亡くなり、3学期が始められない学校もたくさんあります。私たちにできることは、一日も早い復興を祈ること、そして、今、自分がやらなければならないことを一生懸命やることだと思います。3学期は42日間と短いです。2ヶ月後には、修了式や卒業式があります。今の学年で覚えなければいけないことをしっかりと身に付けて、自信をもって4月を迎えられるようにしましょう。

さて、今年は辰年。60年に一度の「甲辰(きのえたつ)」の年です。「甲辰」の年は、『春のあたかい日差しがすべてのものに降り注ぎ、大きな成長と変化が起こる年』と言われていて、これまで努力してきたことができるようになったり、人に認められたりと、頑張ってきた人にとっては大きな成長や変化が期待できる年になります。逆に、頑張らなかった人にはとても悪い結果が待っているという年なそうなので、なりたい自分をイメージして、頑張る一年、努力の一年にしていきましょう。

次に、3学期にみんなで頑張りたいことをお話しします。

それは、児童会スローガン『前進～笑顔でつなぐ150周年にしよう～』を最後まで意識して生活しましょうということです。5月の児童総会では、特に力を入れたいこととして①自分から明るいあいさつ、②ほかほか言葉、③ろう下歩の3つをあげていました。特に①のあいさつは、今年とてもよくなってきたことのひとつです。最後まで頑張る通して、「明るいあいさつ」を福岡小学校の自慢の一つにしていきたいと思います。そのためには、「㊟：あいてより先に」「㊿：いつでもどこでも」「㊿：さわやかに」「㊿：つづけよう」が大事です。

最後に、皆さんにしっかりとやってほしいことをお話しします。それは、「感染予防対策」です。2学期の最後は、インフルエンザ感染による学校閉鎖や学級閉鎖が続きました。3学期はとても短いです。みんなが毎日元気に登校できるように、みんなで手洗いや換気をしっかり行い、感染予防に努めていしましょう。マスクをつけるかどうかは、一人一人の判断になりますが、給食準備では全員マスクをつける必要があります。給食は今日から始まります。しっかりと守りましょう。

それでは、3学期42日間、4月に向けて前進し続けましょう。

【始業式 式辞】

始業式 児童代表のことば 『三学期めあて』

みなさんの冬休みは、充実した冬休みでしたか。

私は、冬休み中にいつもより地域の方々にあいさつすることを目標としてがんばりました。実行してみると、多くの地域の方々は、気持ち良くあいさつを返してくれました。私は、今まで執行部としてあいさつの取り組みをしてきましたが、改めてあいさつすると気持ちがぽかぽかすることを感じ、あいさつすることの大切さについて知ることができました。



いよいよ、三学期です。三学期はまとめの時期です。私は来年度の福小は今年度よりもあいさつにあふれて、気持ち良く生活できるようにしたいです。そのために、三学期は、去年よりもたくさんのあいさつができるようにしたいです。

まずは、みなさんにあいさつの大切さを知ってもらい、きちんとあいさつのできる福小にしたいです。「前進」、笑顔でつなぐ150周年にしよう！という今年度のスローガンにふさわしい一年だったねと、友達や、先生と振り返ることができる三学期にしましょう。

== 岩谷橋かけかえ工事完成イベント ==

12月25日（月）に、岩谷橋かけかえ工事完成イベントが行われ、新しい橋につけられる4枚の橋名板の文字を書いた4人の児童も参加しました。

橋名板に刻まれた文字は写真の左から順に「白鳥川」「令和5年12月完成」「岩谷橋」「いわやはし」です。

この4文字の習字には、5・6年生全員が取り組み、記念品が贈られました。



橋名板に文字が刻まれた4人

== 大谷翔平さんからグローブが届く！ ==



グローブは右利き用2（大小）と左利き用1です

メジャーリーガーの大谷翔平さんが全国の小学校に贈ったグローブとメッセージが届きました。しばらくはかっこうホールのガラスケースに入れて保管しながら、体育の時間などを使って、全校児童が触ったり使ったりする機会をつくっていこうと考えています。

大谷翔平さんの「自分がやらなければならないことのストレート（まっすぐ）に向かっていく」という生き方から、努力し続けることの素晴らしさを学んでいきましょう。